

2023 S A
G A
B I
—

2023年度
嵯峨美術大学大学院
芸術研究科 [修士課程]
学生募集要項

目次

| | |
|----------------------------------|-------|
| 教育目標 | 2 |
| アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー | 2 |
| 募集人員 | 3 |
| 入学試験日程 | 3 |
| 出願資格 | 3 |
| 選考方法 | 4 |
| 出願手続（出願書類） | 5 |
| （入学検定料・出願期間・出願方法・出願上の注意事項） | 6 |
| （提出資料について） | 7 |
| （受験に関する注意事項） | 7 |
| 合格発表・学費・入学手続 | 8 |
| 事前相談 | 9 |
| 大学院 芸術研究科 教員情報一覧 | 10～14 |

<提出書類セット>

| | |
|-------------------|------|
| 入学願書 | 様式 1 |
| 受験票 | 様式 2 |
| 研究計画書 | 様式 3 |
| 作品等証明書 | 様式 4 |
| 業績調書 | 様式 5 |
| 志願者調書（留学生用） | 様式 6 |
| 身元保証書（留学生用） | 様式 7 |
| 学費支弁に関する誓約書（留学生用） | 様式 8 |

芸術研究科（修士課程）の教育目標

学部教育の理念を継承し、学部で培った専門分野の知識や技術を深めるとともに、他分野への視野を広げ、総合的な企画能力の涵養に努める。さらには、多様な価値観の存在する現代社会で独自の芸術世界を構築し、発信していくために、表現意図、表現対象、表現方法を的確に認識し、その制作理論を構築できる力とプレゼンテーション能力の養成を目指す。

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

芸術研究科修士課程は、以下のような学生を求めています。

- ・幅広く文化芸術に関心を持ち、その発展と融合を図り、新しい提案をしたい人
- ・総合的な表現力、企画力を養いたい人
- ・芸術分野の知識や技術および実績を持ち、さらに研究を深めたい人

カリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）

芸術研究科修士課程は、以下の考え方にに基づき、カリキュラムを編成します。

- ・広く文化芸術に関する理解を持つとともに、問いや課題を発見し、それに取り組む方法を身につける
- ・自身の研究を社会の中で実践的に活用する能力を養う
- ・研究を実践的に推進するための高度な専門的知識や技術を習得する

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

芸術研究科修士課程は、以下を満たしていると評価された者に修士の学位を授与します。

- ・広い視野に基づく、独自性のある表現や研究方法の確立
- ・表現や研究の成果を社会に発信し貢献する力の修得
- ・芸術に関わる専門的な研究の進展

| 科目区分 | | 必修単位数 | 修了要件単位数 |
|------|--------|-------|---------|
| 基幹科目 | 選択科目 | 8単位以上 | 32単位以上 |
| | 選択必修科目 | 8単位 | |
| | 必修科目 | 8単位 | |
| 展開科目 | 選択科目 | 8単位以上 | |

募集人員

| 専攻 | 専攻分野 | 募集人員 | |
|-----------------------|----------------|------|----|
| | | 前期 | 後期 |
| 芸術研究科 修士課程 芸術専攻 | 造形分野 デザイン分野 | 5名 | 3名 |

入学試験日程

| | 前期 | 後期 |
|---------------|--------------------------|-------------------------------|
| 出願期間 | 9月9日(金)～ 9月15日(木)消印有効 | 2023年1月6日(金)～ 1月12日(木)消印有効 |
| 一次(書類)審査合格発表日 | 9月30日(金) | 2023年2月8日(水) |
| 二次(面接)審査試験日※ | 10月9日(日) | 2023年2月17日(金) |
| 合格発表日 | 10月17日(月) | 2023年2月28日(火) |
| 入学手続締切日(一次) | 12月2日(金) | 2023年3月16日(木) |
| 入学手続締切日(二次) | 2023年1月12日(木) | |

※一次審査合格者のみ

出願資格

本学大学院入学時(2023年4月1日)において22歳以上で、次のいずれかに該当する者、または2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

- ①日本および外国の4年制大学を卒業した者。
- ②大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者。
- ③文部科学大臣の指定した者。
- ④本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

<外国人留学生>

本学大学院入学時(2023年4月1日)において22歳以上で、次のA・B・Cのすべての条件を満たす者。

- A. 出願時に「留学」の在留資格を有する者。
- B. 次のいずれかに該当する者、または2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
 - ①日本および外国の4年制大学を卒業した者。
 - ②大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者。
 - ③外国において学校教育における16年の課程を修了し、学士の学位を取得した者。
 - ④文部科学大臣の指定した者。
 - ⑤本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
- C. 出願時点で以下のaかbのいずれかに該当する者。
 - a. 日本語能力試験(JLPT)のN2以上に合格していること。
 - b. 日本留学試験(EJU)の「日本語」科目において「記述」を除く「読解／聴解・聴読解」で240点以上を取得していること。

選考方法

(1) 一次審査（書類選考）

出願書類に基づき一次審査(書類選考)を行い、二次審査(面接選考)対象者を決定します。

対象者(一次審査合格者)には「二次審査(面接選考)の案内」を送付します。

| 専攻分野 | 試験内容 | 提出資料 |
|----------------|------|--|
| 造形分野 デザイン分野 | 書類選考 | 出願時に①または②のどちらかを提出 ①ポートフォリオ（注1） ②研究論文（注2） |

(注1) ポートフォリオは印刷されたものをファイルフォルダー等に綴じ、1冊にまとめて提出すること。
映像作品の場合は、5分以内にまとめたものをDVD・USBメモリに記録して提出し、ポートフォリオにはキャプチャー画像と作品概要を添付すること。
一次審査不合格者には一次審査合格発表後に郵送にて返送、二次審査受験者には面接試験終了時に直接返却します。

(注2) 研究論文を提出する方は、出願時にそのコピーを出願書類に同封すること（研究論文は返却しません）。

(2) 二次審査（面接選考）

一次審査合格者を対象に行い、最終合否を決定します(一次審査不合格者は受験できません)。

| 専攻分野 | 試験内容 | 持参物 |
|----------------|------|--|
| 造形分野 デザイン分野 | 面接 | ①または②のどちらかを持参 ①過去1年以内に制作した作品1点（注1） ②研究論文（原本） |

(注1) デジタルデータによる作品や映像作品（5分以内にまとめたもの）の場合は、ノートパソコン等を持参して作品が見られるようにすること。コンピューターなどの機材（インターネット環境を含む）の貸し出しは行いません。

出願手続

(1) 出願書類

※書類はボールペンで記入（消せるタイプは不可）

| | 一般 | 留学生 | 様式 | 備考 |
|------------------------|-----|-----|-----------------------|---|
| ①入学願書 | ○ | ○ | 所定用紙 様式1 | 3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm)を貼付。(上半身、脱帽、正面向、カラー・白黒いずれも可) 裏面に入学検定料納入証明書類を貼付(P.6参照)。 |
| ②受験票 | ○ | ○ | 所定用紙 様式2 | 必要事項を記入 |
| ③成績証明書 | ○ | ○ | 出身大学(学校)が発行 (コピー可) | 1. 専攻科修了(見込)者は本科・専攻科分とも提出してください。 2. 大学卒業以外の資格で出願を希望する方については、その成績を確認できる書類を提出してください。 ※証明書が日本語以外の場合は日本語訳も添付。 (詳細はP.6~7「出願上の注意事項」を参照) |
| ④卒業(見込)証明書 | ○ | ○ | 出身大学(学校)が発行 (コピー可) | 1. 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方は、学位記の写し(取得見込の方は授与申請を受理した証明書)も提出してください。 2. 大学卒業以外の資格で出願を希望する方については、その資格を確認できる書類を提出してください。 ※証明書が日本語以外の場合は日本語訳も添付。 (詳細はP.6~7「出願上の注意事項」を参照) |
| ⑤研究計画書 | ○ | ○ | 所定用紙 様式3 | 必要事項を記入 |
| ⑥業績調書 | (○) | (○) | 所定用紙 様式5 | 社会活動歴のある方のみ提出 |
| ⑦志願者調書 | | ○ | 所定用紙 様式6 | 学歴、日本語学習歴、職歴は各在学(職)年月等を正しく記入してください。 |
| ⑧身元保証書 | | ○ | 所定用紙 様式7 | 1. 身元保証人は日本国内在住者に限る。 2. 身元保証人は志願者の在学期間中の一切の行動について責任を負うこと。 3. 学費支弁者を兼ねている保証人は、学費等の必要経費についても責任を負うこと。 |
| ⑨学費支弁に関する誓約書 | | ○ | 所定用紙 様式8 | 1. 学費支弁者は志願者の在学期間中の学費等一切の必要経費について責任を負うこと。 2. 学費支弁が本国からの送金による場合、残高証明書等の提出を求めることがあります。 |
| ⑩日本語能力証明書類 | | ○ | | 1. 日本語能力試験(JLPT)の場合 合格結果通知書、日本語能力認定書、成績証明書のいずれか(コピー可) 2. 日本留学試験(EJU)の場合 2021、2022年度受験者は「志願者調書」(裏面)の所定欄に受験番号を記入 2020年度以前の受験者は成績通知書、成績証明書のいずれか(コピー可) |
| ⑪パスポートおよび在留カードのコピー | | ○ | | パスポートのコピー(顔写真ページ)および在留カード両面のコピーを提出してください。 |
| ⑫作品のポートフォリオまたは研究論文のコピー | ○ | ○ | 所定用紙 様式4を添付 | 出願時に必ず提出してください。 提出にあたっては、P.4、およびP.6~7を参照 |

(2) 入学検定料

25,000円（入学検定料は一次審査の可否に関わらず一律25,000円です）

下記振込先まで、銀行窓口、ATM、インターネットバンキングのいずれかから納入してください。

銀行名：京都銀行
支店名：帷子ノ辻（カタビラノツジ）支店
預金種目：普通預金
口座名：学）大覚寺学園 ガク）ダイカクジガクエン
口座番号：3412226
振込金額：25,000円（振込手数料は志願者負担）

<振込時の注意>

- ・振込依頼人名の欄には下記の内容を入力してください。
10 + 志願者氏名（カタカナ）
※番号と志願者氏名の間は空けずに続けて入力してください。
- ・入学願書裏面に入学検定料を納入したことを証明する下記いずれかのコピーを貼付してください（原本は各自で保管）。
銀行窓口で振込の場合：振込金受領書
ATMで振込の場合：利用明細
インターネットバンキングで振込の場合：振込取引明細画面を印刷したもの

(3) 出願期間

| 試験種別 | 出願期間 |
|------|---------------------------|
| 前期 | 9月9日（金）～9月15日（木）消印有効 |
| 後期 | 2023年1月6日（金）～1月12日（木）消印有効 |

(4) 出願方法

- ・郵送：市販の角2封筒を使用し、簡易書留速達で郵送してください（締切日の消印有効）。
封筒には「大学院出願書類在中」と朱書きしてください。
〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
嵯峨美術大学 入学広報グループ 宛
- ・持参：入学広報グループ窓口まで提出してください。
事務局休業日（土曜・日曜・祝日を含む）は受付できません。
【受付時間】 [平日] 10:00～17:00

(5) 出願上の注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は受理できません。必要な書類が揃っているか必ず確認して出願してください。
- ② 出願書類受理後は、出願事項の変更を認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は入学広報グループまで連絡してください。
- ③ いったん納入された入学検定料は返還いたしません。ただし、次の事由に該当する場合は返還を認めることがあります。該当する方は入学広報グループ（TEL. 075-864-7878）まで問合せってください。
 - ・入学検定料を誤って二重もしくは過剰に納入した場合
 - ・入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願が受理されなかった場合
 - ・入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
- ④ いったん受理した出願書類は返還いたしません。
- ⑤ 氏名等に旧字体等が含まれている場合は、常用漢字の代替となる文字にて対応することがありますので、あらかじめご了承ください。

- ⑥卒業証明書、成績証明書等が日本語以外で記載されている場合は、必ず日本語訳を添付してください。
翻訳者は不問ですが、大使館等の公的機関や日本語学校等で翻訳文が正確なものであるという証明を受けてください（民間の翻訳所などによる証明は不可）。

（6） 提出資料について

＜一次審査＞

1. 「ポートフォリオ」を選択する場合
作品のポートフォリオは1冊にまとめ、出願時に必ず提出してください。
掲載する作品の制作年は問いません。
2. 「研究論文」を選択する場合
研究論文のコピーを出願時に必ず提出してください。

提出方法：出願書類とともに簡易書留速達で郵送（宅配便等の利用も可）

または持参により入学広報グループまで提出してください。

一次審査不合格者は一次審査合格発表後に郵送にて返送、二次審査受験者は面接試験終了時に直接返却します。研究論文は返却いたしません。

＜二次審査＞

1. 「作品」を選択する場合
過去1年以内に制作した作品1点を試験当日に持参してください。
作品は自らの責任で搬入・搬出が可能なものに限ります。本学での事前受取、および返送は一切行いません。
2. 「研究論文」を選択する場合
研究論文の原本を試験当日に持参してください。

＜提出資料に関する注意事項＞

作品や研究論文には卒業制作作品等を含みます。

作品やポートフォリオ・研究論文が本人の制作または記述であることを証明できるように、指導教員等による「作品等証明書」（様式4）を添付してください。

（7） 受験に関する注意事項

- 【受験票】 出願期間締切日後10日以上経過しても受験票が届かない場合は、入学広報グループまで問合せしてください。面接試験当日、受験票を忘れた場合は、会場の係員に申し出てください。
- 【集合時間】 指定された面接集合時間は厳守してください。
- 【遅刻】 面接集合時間から20分以上遅刻した場合は、試験放棄（欠席）とみなします。
ただし公共交通機関の遅延・交通事故・その他やむを得ない事情で遅刻した方（スクールバスの遅延は含まない）は、試験会場の係員に申し出て指示を受けてください。
- 【不正行為】 試験妨害行為、不正行為があった場合は、ただちに受験の停止を命じ、その後の受験は認めません。

合格発表

| 試験種別 | 一次審査合格発表日 | 合格発表日 |
|------|--------------|---------------|
| 前期 | 9月30日(金) | 10月17日(月) |
| 後期 | 2023年2月8日(水) | 2023年2月28日(火) |

- 受験者全員に対し、郵送(速達郵便)で合否を通知します。
- 一次審査合格者には「二次審査(面接選考)の案内」を送付します。二次審査合格者には合格通知書と入学手続書類を送付します。
- 学内掲示による発表は行いません。
- 合否結果に関する問合せには一切応じられません。
- 郵便事情等により、通知文書の到着が遅れる場合があります。

学費

2023年度の学費(予定)

| | 入学時手続金 | | 第3回納付額 (6月末) | 第4回納付額 (10月末) | 合計 |
|-------|----------|----------|-----------------|------------------|------------|
| | 1次 | 2次 | | | |
| 入学金 | 200,000円 | — | — | — | 200,000円 |
| 授業料 | — | 212,500円 | 212,500円 | 425,000円 | 850,000円 |
| 教育充実費 | — | 75,000円 | 75,000円 | 150,000円 | 300,000円 |
| 合計 | 200,000円 | 287,500円 | 287,500円 | 575,000円 | 1,350,000円 |

諸費内訳(2023年度予定)(2年分)

| | |
|--------------------------------|---------|
| 学生教育研究災害 傷害保険・付帯賠償 責任保険料 | 2,430円 |
| 教育後援会費 | 24,000円 |
| 学友会費 | 12,000円 |
| 合計 | 38,430円 |

※入学手続時(2次)には、学費以外に上記諸費の納入が必要となります。

入学手続

- ・入学時手続金の納入および必要書類の提出をもって手続完了となります。指定期日までに手続を完了しない場合は入学を取り消します。
- ・入学時手続金は2段階納入とし、1次手続で入学金、2次手続で入学金以外の入学時手続金を納入してください。後期日程の合格者は、指定の期日までに入学金を含む入学時手続金を納入してください。
- ・入学金は入学年度のみ納入していただきます。**なお本学卒業生は入学金が全額免除となります。**
- ・本学園卒業生・在学生の父母、子弟子女または兄弟姉妹の方(親子または兄弟姉妹が同時に合格した場合はそのうち1名を除いた方)は**入学金が全額免除となります**。詳細は入学広報グループまでお問合せください。
- ・いったん納入された入学金はいかなる理由があっても返還いたしません。
- ・2次手続を完了された方に、入学許可書を発行します。入学許可書は2次手続締切日後、1週間程度で送付します。

※納付金の返還について

- ・入学手続後、入学を辞退する場合は「入学辞退届」(2023年3月24日(金)までにお電話で入学広報グループまで請求してください)に必要事項を記入し、2023年3月31日(金)午後4時(時間厳守)までに入学広報グループへ提出してください。入学金以外の納付金を返還します。なお、提出期限以降に辞退の申し出があった場合については、「学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償責任保険料」「教育後援会費」「学友会費」のみを返還します。

事前相談

研究領域や内容の確認のため、希望者にはメールおよびオンライン（zoom等）による事前相談を行っています。希望される場合は、申込方法を確認のうえ、下記の期間に申し込んでください。なお、事前相談では指導や講評は一切行わず、入学後の指導を約束するものでもありません。また、期間外の申込はお受けできませんのでご注意ください。担当教員については教員情報一覧（P10～）を参照してください。

| | 前 期 | 後 期 |
|----------|-----------------|----------------|
| 事前相談申込期間 | 7月26日（火）～28日（木） | 12月6日（火）～8日（木） |

<申込方法>

メールにて下記の必要事項を記入し、必要データを添付して申し込んでください

宛 先：nyushi@kyoto-saga.ac.jp

件 名：「大学院 事前相談希望」

本 文：①氏名（フリガナ）②電話番号 ③相談を希望する教員名（1名のみ）

メール添付データ：①入学願書（様式1）②研究計画書（様式3）③作品データ1点

嵯峨美術大学大学院 芸術研究科 教員情報一覧

| 教員名 | 大沼 憲昭 | 仲 政明 | 北島 文人 |
|-------------|---|---|--|
| 研究ジャンル | 日本画研究 | 日本画・古画研究 | 日本画研究 |
| 職位 | 教授 | 教授 | 講師 |
| 教員の研究テーマ | 日本画表現から表出する実在感の研究 | 1:「文化財保存における模写の有効的活用の検討」 2:「文化財建造物彩色・壁画技法と素材の解明」 | 日本画における対象表現の特質と技法の研究 |
| 教員の研究テーマ説明 | 日本画表現の源泉となる東洋思想や仏教思想からその様式や特徴を探り、自作において描く対象そのものの在り方を探求する。 | 1: 古典絵画の模写制作を通して、古典絵画技法・素材の解明を図り、保存修復の上での模写の有効性を明らかにする。 2: 文化財建造物彩色・壁画等の調査・模写・分析を通して、古典彩画技法の解明と体系化を図る。 | 写生により対象と向き合い、対象を深く観察することから自身の日本画表現に展開させていく。そのとき自分の内面から表出される感覚や感情など、形のないものも表現の要素として探求する。そしてそれらを表現するための技法研究。 |
| 指導テーマの参考例 1 | 「日本画の基底材、紙本、絹本や色料がもたらす表現様式およびその効果の研究」 | 「国宝『源氏物語絵巻』の復元模写研究」 | 「日本画における描く対象としての有形と無形の表現研究」 |
| 指導テーマの参考例 2 | 「屏風様式とその表現効果の研究」 | | |
| キーワード | 日本画、写生、日本画表現技法、日本画様式、日本画材料学 | 古画模写、古典技法、文化財保存修復、建造物彩色 | 日本画、写生、日本画表現、日本画材料学 |

| 教員名 | 宇野 和幸 | 山本 直樹 | 濱田 弘明 |
|-------------|---|--|--|
| 研究ジャンル | 油画・ミクストメディア研究 | 油画・インスタレーション研究 | 版画・写真研究 |
| 職位 | 教授 | 教授 | 教授 |
| 教員の研究テーマ | ミクストメディアによる絵画、空間表現の研究 | 感覚、記憶、社会に関するインスタレーション研究 | モダニズム以降の版画・写真表現における批評的表現の研究 |
| 教員の研究テーマ説明 | 空間の構造と構築、世界のあり方を捉える表現を、主に絵画的手法によって研究している。 素材としては和紙をベースに、物事の関係性、状態をモチーフとして平面、立体にまたがる作品制作を行っている。 | 視覚による芸術表現だけでなく、聴覚、触覚、嗅覚、味覚も表現として扱いながら、現代社会における事件、事象をテーマに、記憶に刻む研究・制作を行っている。 | 自己と世界の関係に於ける感覚、感情を版画・写真による間接的表現によって表現する。主にシルクスクリーンによって写真画像を、主に平面に再構築し、自己と世界との関係をも再考するような作品の制作を目指す。 |
| 指導テーマの参考例 1 | 「体感する絵画—知覚と精神の統合をめぐる」 | 「視覚のノイズと色について」 | 「平面における運動感覚の表現研究」 |
| 指導テーマの参考例 2 | | | |
| キーワード | 絵画、油画、ミクストメディア、インスタレーション、現代美術 | 絵画、ドローイング、インスタレーション、現代美術 | 版画、写真、絵画、現代美術、イラストレーション、出版 |

2022年度実績による参考資料です。2023年度以降の担当教員詳細については、変更になる場合があります。

嵯峨美術大学大学院 芸術研究科 教員情報一覧

| | | | |
|-------------|---|--|--|
| 教員名 | 松本 泰章 | 日野田 崇 | 中西 信洋 |
| 研究ジャンル | メディアアート研究 | 陶芸・立体研究 | 彫刻・インスタレーション研究 |
| 職位 | 教授 | 教授 | 准教授 |
| 教員の研究テーマ | ジャンルとメディアを横断する表現の研究 | 陶造形を中心とした表現の可能性を探求 | 時間と身体を通じた彫刻的表現の研究 |
| 教員の研究テーマ説明 | メディアアートによる表現の研究。 インタラクティブ技術の研究。 視覚、聴覚、臭覚、触覚等の複合的表現技法の研究。 美術、建築、デザイン、科学、哲学、サウンド、情報工学、コミュニケーション等を横断的に結びつける表現の研究。 | 作品制作を通して時代精神のようなものを掘りおこしていきたい。 国内外の美術館、ギャラリーで展示している。 近年の展覧会 ■個展《Takashi Hinoda - céramiques》 アリアナ美術館 (2015 / スイス) ■《実在する土》第18回シャトールー国際陶芸ビエンナーレ展 (2015 / シャトールー / フランス) ■“非常上癮 — 日常生活美学的再延伸” 展 Yinchuan MOCA (2016 / 銀川市・中国) などに出展 | 彫刻というものを素材や手法の枠で捉えるのではなく、時間と空間をつなぐ身体を軸とした表現として捉え、ものの周囲を取り巻く余白や、空間に着目した彫刻的表現についての研究をしている。 |
| 指導テーマの参考例 1 | 「ビジュアル表現と音楽表現によるインタラクティブ表現の研究」 | 「陶磁器作品制作におけるベトナムと日本文化の融合およびその技術的な探究」 | 「触覚性を通じた空間表現の可能性について」 |
| 指導テーマの参考例 2 | | | 「時間を軸とした彫刻表現についての研究」 |
| キーワード | 映像、インタラクティブ、インスタレーション、コミュニケーション、サウンド | 立体、陶芸、インスタレーション、工芸、現代美術 | 彫刻、インスタレーション、映像、現代美術 |

| | | |
|-------------|--|---|
| 教員名 | 倉山 裕昭 | ホール・ウィリアム・ロス |
| 研究ジャンル | 映像・インスタレーション研究 | 言語学習・学際的な研究 |
| 職位 | 准教授 | 准教授 |
| 教員の研究テーマ | 視覚像にはどのような可能性があるかについての研究 | 1：言語学習と視覚の関係について 2：英語学習における美術鑑賞と表現 |
| 教員の研究テーマ説明 | 映像やインスタレーションを通して視覚の可能性を追求している。 | 1：感覚的な立場から言語学習の可能性、とくに両眼視を用いた実験的な言語学習法を追求している。 2：アート鑑賞と表現を通じたより効果的な英語学習法の可能性を研究している。 |
| 指導テーマの参考例 1 | 「人の内面性や感情を題材にした映像作品の制作と、それに伴う作品の意図を明確にする空間演出の研究」 | 「美術と言語を融合した研究」 |
| 指導テーマの参考例 2 | | 「英語教育」 |
| キーワード | 映像、インスタレーション、現代美術、メディアアート | 言語学習、美術鑑賞、視覚、学際的 |

2022年度実績による参考資料です。2023年度以降の担当教員詳細については、変更になる場合があります。

嵯峨美術大学大学院 芸術研究科 教員情報一覧

| 教員名 | 江村 耕市 | 辻 勇佑 | 奥田 一生 |
|-------------|--|--|--|
| 研究ジャンル | アート&デザイン研究 | ビジュアルデザイン研究 | イラストレーション研究 |
| 職位 | 教授 | 教授 | 講師 |
| 教員の研究テーマ | 美術表現における生々しさと美しさの共存に関する研究 | ビジュアルコミュニケーションにおける視覚言語の多様な展開を研究 | 1：時代を超えた文化の融合によるイラストレーション表現の研究 2：面と線による生物の力強さ・奇妙さ・美しさの研究 |
| 教員の研究テーマ説明 | 喜びを伴って他者と刺激し合うために私たち一人一人は、何を行うべきか。何を行わないべきかという問いを伴った映像表現、ビジュアルデザイン、テキスト、他者との関わりなどの表現を探究する。 | 視覚伝達におけるメッセージを構築するための素材のイラストレーション、写真、タイポグラフィ、配色、割付などの視覚言語について適切に伝達するための表現を、時代性などの背景を考慮して構築する方法を研究する。 | 1：昔より受け継がれる文化と現代の文化とを融合しつつ常に変化する文化に向けてのイラストレーション制作研究。 2：日本の文化から生まれた「平面の絵」「線画」を主な表現とし人工物の環境によって姿や印象を変える、生物の力強さ・奇妙さ・美しさの研究。 |
| 指導テーマの参考例 1 | 「異なる文化圏の人との意思疎通を助ける非言語コミュニケーションの研究」 | 「四気質を素材としたビジュアルコミュニケーションの研究」 | 「現代に求められる情報を反映したイラストレーション表現の研究」 |
| 指導テーマの参考例 2 | 「針金を素材としたイラストレーション表現と空間を含めたデザイン展開の研究」 | | |
| キーワード | 映像、プロジェクションマッピング、ビジュアルデザイン、空間演出 | グラフィックデザイン、ビジュアルコミュニケーション、タイポグラフィ、パッケージ、ディスプレイ | イラストレーション、絵本、ビジュアルデザイン |

| 教員名 | 池田 泰子 | 竹内 オサム | 下西 紀 |
|-------------|---|---|--|
| 研究ジャンル | 公共施設のグラフィックス研究 | コミュニケーションデザイン研究 | 映像・アニメーション研究 |
| 職位 | 教授 | 教授 | 准教授 |
| 教員の研究テーマ | 1：国内・海外の動植物園、博物館、チルドレンミュージアムなど公共施設のグラフィックスと環境教育のためのツール 2：環境教育ワークショップやイベント | コミュニケーションデザインにおける、メディア展開の可能性を探索する研究 | デジタル・ヒューマニティーズによる文献研究 |
| 教員の研究テーマ説明 | 1：公共施設のロゴ、ビクト、サイン、情報伝達のための印刷物の制作研究。海外の資料の取材と収集。 2：公共施設での環境教育を目的としたイベントの企画と実施。それにまつわるディスプレイや印刷物などの制作研究。 | コミュニケーションデザインにおける、メディア展開の可能性を研究している。ゲーミフィケーションの応用デザインやブックデザインの研究など。 | 中国最古の地理書とされる「山海経」を研究対象とし、その世界観をビジュアル化、数値、データ化することによりこの文献の世界観を検証している。 |
| 指導テーマの参考例 1 | 「京都市動物園のグラフィックスの現状分析と提案」。それに基づく制作。 | 「京都文化の研究に基づいた商品展開」 | 「剪纸とCGアニメーションの融合」 |
| 指導テーマの参考例 2 | | | |
| キーワード | パブリックサイン、インフォメーショングラフィックス、環境教育、ワークショップ | グラフィックデザイン、ブックデザイン、コミュニケーションデザイン | 映像、ムービー、アニメーション、3DCG、デジタルエフェクト |

2022年度実績による参考資料です。2023年度以降の担当教員詳細については、変更になる場合があります。

嵯峨美術大学大学院 芸術研究科 教員情報一覧

| 教員名 | 安齋 レオ | 呉 塵罍 | 敷城 こなつ |
|------------|---|---|---|
| 研究ジャンル | キャラクターデザイン研究 | 日本のマンガ表現研究 | キャラクターデザイン研究 |
| 職位 | 教授 | 講師 | 講師 |
| 教員の研究テーマ | POPカルチャー、キャラクターデザイン、特撮・アニメーション研究、映像映画研究、フィギュア造形研究 | 1：日本のマンガ制作技法の研究 2：日本とアジアにおけるマンガコンテンツの展開の研究 3：高等教育におけるマンガ教育の研究 | コミックイラスト、デジタル作画、キャラクターデザインに関する企画制作、学生フリーランス支援事業 |
| 教員の研究テーマ説明 | POPカルチャーに関する研究。日本のPOPカルチャーを専門に研究している。アニメ、漫画、ゲーム、キャラクターコンテンツ全般、それらのキャラクターデザインに関しての考察。また先端的絵画表現の研究も行っている。 | 時代とともに歩んできた、或いは時代を築いた日本のマンガ表現技法の可能性と多様性、及びその日本と中国・台湾などでの産業価値と応用を研究する。高等教育機関におけるマンガ関連教育の教育形態を研究する。 | 1：アプリゲーム、ライトノベル、セルアニメーション等の商業イラストにおける企画と需要の制作研究。キャラクターコンテンツの企画開発。 2：在学生、卒業生向けにフリーランス支援として有償イラスト案件の監修も手掛けている。 |
| 指導テーマの参考例1 | 「キャラクターのバリエーションによる表現展開の可能性について」 | 「日本とアジアのマンガ産業形態とマンガ表現技法の変遷の研究」 | 「一次創作、二次創作、三次創作から考察するキャラクターイラストの企画と制作研究」 |
| 指導テーマの参考例2 | 「平面作画されたキャラクターの立体表現の可能性を探る」 | | |
| キーワード | キャラクターデザイン、フィギュア造形技術、漫画、アニメ、ゲーム、映画、POPカルチャー | マンガ制作・マンガ脚本、マンガ編集、マンガ企画、マンガの歴史、マンガ雑誌の企画 | キャラクターデザイン、コミックイラスト、ライトノベル挿絵、アプリゲーム、キャラクターコンテンツ企画開発、アニメーション |

| 教員名 | 楠林 拓 | 上田 香 |
|------------|--|--|
| 研究ジャンル | プロダクトデザイン研究 | 染織・テキスタイル研究 |
| 職位 | 准教授 | 准教授 |
| 教員の研究テーマ | プロダクトデザイン、商品開発、商品企画、CAD教育とeラーニングについての教材開発と研究 | 1：伝統染織工芸に関する研究 2：テキスタイルデザイン研究 |
| 教員の研究テーマ説明 | 3Dプリンターによるものづくりについて。ものの所有と利用について。 | 1：日本の伝統工芸の一つである有松絞りの研究を行っている。400年に及ぶ歴史を振り返り、多角的な角度から有松絞りの変遷を分析している。 2：デジタルテキスタイルプリントや織り組織を商品開発の視点から研究。オリジナルブランドやコラボレーションを行っている。 |
| 指導テーマの参考例1 | 「プロダクトデザインの総合的な応用方法の研究」 | 「日本とマレーシアの文化を融合したオリジナルテキスタイル商品の研究」 |
| 指導テーマの参考例2 | | |
| キーワード | 3DCAD、3Dプリンター、商品企画・商品開発、Eラーニング | プリントデザイン、織物デザイン、ファブリックデザイン、伝統工芸、染織、ファブリック商品企画 |

2022年度実績による参考資料です。2023年度以降の担当教員詳細については、変更になる場合があります。

嵯峨美術大学大学院 芸術研究科 教員情報一覧

| | | | |
|------------|--|---|---|
| 教員名 | 小畑 博正 | 芳野 明 | 佐藤 文郎 |
| 研究ジャンル | 観光デザイン研究 | 西洋美術史・博物館学研究 | 文化芸術理論研究 |
| 職位 | 教授 | 教授 | 教授 |
| 教員の研究テーマ | 観光デザイン、観光文化、観光政策、観光社会 | 1：イタリア美術に関する研究 2：博物館学研究 3：無形民俗文化財研究 | フランス文学に関わる研究。 |
| 教員の研究テーマ説明 | 観光とは地域住民が主体となって、自らの意思で取り組みを推進していくことが潮流となっています。地域のアイデンティティが伴った持続可能な取り組みのダイナミズムが研究テーマです。 | 1：イタリア美術、とくに彫刻に関する研究。ルネサンス以降の美術を中心に、美術にまつわる概念の変遷や非ヨーロッパ地域での受容のあり方などを研究している。 2：博物館学全般。展覧会の企画・運営・展示等々の実践研究を行っている。 3：重要無形民俗文化財「嵯峨大念佛狂言」に関する歴史的・芸術的研究。嵯峨大念佛狂言の成立とその伝承について、史・資料に基づく研究を行っている。 | 20世紀初頭フランスの詩人アポリネールの作品（詩、小説、美術・文芸評論）研究。（アポリネール研究を通して、旧約・新約聖書学、西洋宗教史、西洋思想文学全般の研究を行っています） ベル・エポック期および大戦間（1914-18）の文学および美術思潮の研究。 同時代の社会思想研究。 |
| 指導テーマの参考例1 | 「食」による持続可能な観光地域づくり —地域アイデンティティを核とした地域ブランドの創出— | 「芸術教育における文化学習の研究 —総合的アプローチに焦点をあてて」 | 「秦氏をめぐる映像作品の制作研究」 |
| 指導テーマの参考例2 | | | |
| キーワード | 観光資源、フードツーリズム、エンターテインメント、ツーウェイツーリズム、ダークツーリズム、バスク、ベルリン | 西洋美術史、彫刻、博物館 | 西洋思想、西洋文学、人文社会、宗教思想 |

2022年度実績による参考資料です。2023年度以降の担当教員詳細については、変更になる場合があります。

入学願書

| | |
|------|---|
| 受験番号 | ※ |
| 受付日 | ※ |

※印の欄は記入しないでください

志願者
写真貼付

上半身、脱帽、正面向、
3か月以内に
撮影したもの
カラー・白黒いずれも可
(縦 4cm×横 3cm)

(注) 文字はすべて楷書でペン書き(黒)とし、数字は算用数字を用いてください。

| | | | | |
|-----------------|-----------------------------|--------------|-----------------------------|---------|
| 試験種別 | <input type="checkbox"/> 前期 | | <input type="checkbox"/> 後期 | |
| (フリガナ) | | | | |
| 氏名 | (姓) | (名) | | |
| | (Surname) | (Given name) | | |
| 性別 | 男 ・ 女 | 生年月日 | (西暦) | 年 月 日 生 |
| 現住所 (通知等連絡先) | 〒 - | | | |
| | Tel () - | 携帯電話 | Tel () - | |
| 緊急 連絡先 | 〒 - | | | |
| | (フリガナ) 氏名 | (本人との関係) | | |
| | Tel () - | 携帯電話 | Tel () - | |
| 出身大学等 | 国立 公立 私立 | 大学 | 学部 | |
| | | 学科 | 専攻・コース | |
| | (西暦) | 年 | 月 | 日 |

※入学検定料納入証明書 貼付欄

下記の枠内を記入してください

| |
|------------------|
| 住所 〒 - |
| 氏名 |
| 様 |

(様式2)
大学院選抜

※すべてボールペンで記入

※受験票送付時に使用しますので、番地やマンション名・部屋番号など間違いがないように正しく記入してください

..... 切り取らないこと

嵯峨美術大学

2023年度 受験票

(様式2)
大学院選抜

| | | |
|---------|-----------|--------------|
| フリガナ | | |
| 氏 名 | (姓) | (名) |
| 英 字 氏 名 | (Surname) | (Given name) |
| 受 験 番 号 | ※ | |
| 受 付 日 | ※ | |

※印の欄は記入しないでください

- *この受験票は合格発表日まで大切に保管してください。一次審査合格者は、二次審査当日に必ず持参すること。
- *一次審査合格者は、二次審査の面接集合時間までに指定された教室に入室し、指定の座席に着席してください。
- *面接集合時間から20分以上遅刻した場合は、試験放棄(欠席)とみなします。

【二次審査受験時の注意事項】

◇新型コロナウイルス等の感染症対策について

*試験当日の朝に体温測定を行い、下記のチェック欄にチェックを記入してください。

※チェック欄にチェックを記入

本日の体温は37.5℃未満である

*試験当日の検温で37.5℃以上の発熱のある方、体調が悪い方は受験をご遠慮ください。

*試験当日はマスク(市販品でなくても可)を持参し、本学キャンパス内では常に着用してください。

*試験会場および控室入室の際は、入口に設置されたアルコール消毒液で手指消毒を必ず行ってください。

*学生食堂は営業していません。受験生用の食事場所はございませんので、あらかじめご了承ください。

*新型コロナウイルス感染症予防のため、保護者の方等付添者のキャンパス入構はご遠慮ください。

研究計画書

受付日 . . .

| | | |
|------|---|--------------|
| 試験種別 | <input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 | 受験番号 (大学記入欄) |
| フリガナ | | |
| 氏名 | | |

| | | | |
|----------------------|-------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| 希望分野 (アンケート記入) | <input type="checkbox"/> 造形分野 | <input type="checkbox"/> デザイン分野 | <input type="checkbox"/> 未定 |
| 指導希望 教員名と 希望理由 | 第1希望 | 理由 | |
| | 第2希望 | 理由 | |

希望する修了方法
 作品による修了
 論文による修了

研究テーマ それぞれの項目について、ポイントを明記し概要を記載 ※必要に応じて別紙による研究計画書等を添付しても良い。

・研究の動機、興味、関心 [_____]

・研究の内容と方法、目的 [_____]

・具体的な計画 (制作・理論・調査など) [_____]

※すべてボールペンで記入。該当する箇所に✓を入れてください。

| | | | |
|------|---|-----|---|
| 受験番号 | * | 受付日 | * |
|------|---|-----|---|

※大学記入欄

(様式4)

2023年度 嵯峨美術大学大学院 芸術研究科 [修士課程]
作品等証明書

| | | | |
|--|----------------|------|--------|
| フリガナ | | | |
| 志願者氏名 | | | |
| 出身大学等 | 国立 公立 私立 | 大学 | 学部 |
| | | 学科 | コース・専攻 |
| 作品名 または 論文題目 | | (西暦) | 年 月制作 |
| 〈証明者記入欄〉 上記の作品・論文は本人が所定の期間内に制作・執筆したことを証明します。 年 月 日 所属等 (学校・研究所名、保護者等) 証明者氏名 (印) | | | |

注意：この用紙は提出および持参するポートフォリオ・作品・論文に添付してください。
太枠内は証明者が記入してください。

キリトリ線

| | | | |
|------|---|-----|---|
| 受験番号 | * | 受付日 | * |
|------|---|-----|---|

※大学記入欄

(様式4)

2023年度 嵯峨美術大学大学院 芸術研究科 [修士課程]
作品等証明書

| | | | |
|--|----------------|------|--------|
| フリガナ | | | |
| 志願者氏名 | | | |
| 出身大学等 | 国立 公立 私立 | 大学 | 学部 |
| | | 学科 | コース・専攻 |
| 作品名 または 論文題目 | | (西暦) | 年 月制作 |
| 〈証明者記入欄〉 上記の作品・論文は本人が所定の期間内に制作・執筆したことを証明します。 年 月 日 所属等 (学校・研究所名、保護者等) 証明者氏名 (印) | | | |

注意：この用紙は提出および持参するポートフォリオ・作品・論文に添付してください。
太枠内は証明者が記入してください。

2023年度 嵯峨美術大学大学院
芸術研究科 [修士課程]

| | |
|-----|---|
| 受付日 | ※ |
|-----|---|

| | |
|------|---|
| 受験番号 | ※ |
|------|---|

※印の欄は記入しないでください

業績調書

| | | |
|------|------------|-----|
| フリガナ | | 性別 |
| 氏名 | | 男・女 |
| 生年月日 | (西暦) 年 月 日 | |

職歴

| 勤務先・研究機関等 (職種) | 国・所在地 | 在職期間 (西暦) | 在職年数 |
|----------------|-------|-----------|------|
| () | | 年 月～ 年 月 | 年 |
| () | | 年 月～ 年 月 | 年 |
| () | | 年 月～ 年 月 | 年 |
| () | | 年 月～ 年 月 | 年 |
| () | | 年 月～ 年 月 | 年 |

社会活動歴 (学会発表、留学、企業研究機関でのキャリア等)

| 内容 | 期間 (西暦) |
|----|----------|
| | 年 月～ 年 月 |
| | 年 月～ 年 月 |
| | 年 月～ 年 月 |
| | 年 月～ 年 月 |

※すべてボールペンで記入

(裏面に続く)

展覧会歴

| タイトル・内容 | 開催地 | 期間（西暦） |
|---------|-----|-----------|
| | | 年 月 ～ 年 月 |
| | | 年 月 ～ 年 月 |
| | | 年 月 ～ 年 月 |
| | | 年 月 ～ 年 月 |

2023年度 嵯峨美術大学大学院
芸術研究科 [修士課程] (留学生用)

| | |
|------|---|
| 受験番号 | ※ |
|------|---|

| | |
|-----|---|
| 受付日 | ※ |
|-----|---|

※印の欄は記入しないでください

志願者調書

| | | | |
|------|------|-------|-----|
| フリガナ | | | 性別 |
| 氏名 | (姓) | (名) | 男・女 |
| 生年月日 | (西暦) | 年 月 日 | |

緊急連絡先

| | | | |
|--------------|--------|--------|--|
| (フリガナ) 氏名 | | 本人との関係 | |
| 住所 | | | |
| 電話番号 | 自宅 () | 携帯 () | |

学歴 (小学校入学から最終出身校までの経歴を書いてください)

| 学校名 | 国・所在地 | 在学期間 (西暦) | 在学年数 |
|-----|-------|-----------|------|
| | | 年 月～ 年 月 | 年 |
| | | 年 月～ 年 月 | 年 |
| | | 年 月～ 年 月 | 年 |
| | | 年 月～ 年 月 | 年 |
| | | 年 月～ 年 月 | 年 |
| | | 年 月～ 年 月 | 年 |

※すべてボールペンで記入

日本語学習歴

| 学校名 | 国・所在地 | 在学期間（西暦） | 在学年数 |
|-----|-------|----------|------|
| | | 年 月～ 年 月 | 年 |
| | | 年 月～ 年 月 | 年 |
| | | 年 月～ 年 月 | 年 |

職歴等（職務経験のある方のみ記入してください）

| 勤務先・研究機関等（職種） | 国・所在地 | 在職期間（西暦） | 在職年数 |
|---------------|-------|----------|------|
| () | | 年 月～ 年 月 | 年 |
| () | | 年 月～ 年 月 | 年 |
| () | | 年 月～ 年 月 | 年 |

その他の履歴

| | | |
|--|----------|---|
| | 年 月～ 年 月 | 年 |
| | 年 月～ 年 月 | 年 |

日本語能力の証明（受験歴のあるものに記入、および該当するものに✓(チェック)を入れてください。）

| | | | |
|---------------------|--|---------------|---|
| 日本留学試験（EJU） 受験番号 | | 日本語能力試験（JLPT） | <input type="checkbox"/> N1 , <input type="checkbox"/> N2 |
|---------------------|--|---------------|---|

外国語の知識

| 母語名 | | | | | 左に自己評価を記入すること A. 優 B. 良 C. 可 D. 不可 |
|------|-----|-----|-----|-----|--|
| 外国語名 | 読解力 | 筆記力 | 聴解力 | 会話力 | |
| 日本語 | | | | | |
| 英語 | | | | | |
| () | | | | | |
| () | | | | | |

上記の通り、相違ありません。

(西暦)

年 月 日 氏名

2023年度 嵯峨美術大学大学院
芸術研究科 [修士課程] (留学生用)

身元保証書

嵯峨美術大学
学長殿

フリガナ

氏 名

英字氏名

生年月日(西暦) 年 月 日

現住所

国 籍

上記の者が貴学に在学中、身元を保証するとともに、
責任の一切を引き受けます。

身元保証人 (日本国内在住者に限る)

フリガナ

氏 名

生年月日(西暦) 年 月 日

本人との関係

現住所

電話番号

職 業

保証年月日(西暦) 年 月 日

保証人署名・印

⑩

志願者・保証人の氏名は必ず本人が自署してください。(すべてボールペンで記入)

| | | | |
|------|---|-----|---|
| 受験番号 | ※ | 受付日 | ※ |
|------|---|-----|---|

※印の欄は記入しないでください

2023年度 嵯峨美術大学大学院
芸術研究科 [修士課程] (留学生用)

学費支弁に関する誓約書

嵯峨美術大学
学長殿

フリガナ

氏 名

英字氏名

生年月日(西暦) 年 月 日

現住所

国 籍

上記の者が貴学に在学中、学費等に関して責任を持って支弁することを
誓約いたします。

学費支弁者

フリガナ

氏 名

生年月日(西暦) 年 月 日

本人との関係

現住所

電話番号

職 業

誓約年月日(西暦) 年 月 日

学費支弁者署名・印

㊟

志願者・学費支弁者の氏名は必ず本人が自署してください。(すべてボールペンで記入)

| | | | |
|------|---|-----|---|
| 受験番号 | ※ | 受付日 | ※ |
|------|---|-----|---|

※印の欄は記入しないでください

個人情報の取り扱いについて

この冊子は本学出願希望者への入試関連情報の提供を目的として作成したものです。出願受付に際して本学が受け付ける出願者の情報は、個人情報保護法に基づき厳正な管理を行い、出願者への入試に関するご案内・情報提供以外の目的には一切使用いたしません。

学校法人 大覚寺学園

嵯峨美術大学

嵯峨美術短期大学

住 所：〒616-8362 京都府京都市右京区嵯峨五島町1番地

電 話：075-864-7878（入学広報グループ直通）

アクセス：京都バス・市バス「車折（くるまざき）神社前」下車 徒歩約3分

京福嵐山線「車折（くるまざき）神社」駅下車 徒歩約5分

阪急嵐山線「松尾大社」駅下車 徒歩約20分（スクールバス運行約5分）

JR 嵯峨野線「嵯峨嵐山」駅下車 徒歩約15分

本学の入学に関するご質問は入学広報グループまでお問合せください。
[TEL：075-864-7878(直通) / mail：nyushi@kyoto-saga.ac.jp]